

ヒガシンカタイム通信①

生徒に学びを委ねる「ヒガシンカタイム」始動!!!!

本校では、この2学期から「生徒自身が主体的に学びを進める」ための新しい挑戦として、「ヒガシンカタイム」をスタートさせました。従来の「先生が教える授業」から一歩踏み出しています。



ヒガシンカタイム
東 進化
学びを進化させる時間



<目的>

- ・人生100年時代 生き方が変わってきている今、必要な「**学び続ける力**」
- ・社会や技術の変化に対応する・変化を生み出すための「**自ら学ぶ力**」
- ・「座っていれば先生が教えてくれる」から「**自分で学びを創り出す**」学習の転換

<内容>

- ・1コマ40分間で「**何を・誰と・どこで・どうやって学ぶか**」を**自分で決定**
- ・図書館・理科室・中庭・教室など**好きな場所**で学習
- ・一人で集中・友達と協力・先輩後輩と教えるなど、**多様な学び**が可能



<やってみて、どうだったか（生徒の声）>

- ・図書室で友達と集中して勉強した。それぞれが持ってきた問題集などを使って同じ机で勉強した。いつもと環境が違い、楽しかった。
- ・友達と教え合いをした。どうすれば相手に分かりやすく教えられるかを考えることで、自分も情報を整理することができた。
- ・後輩に英語を教えたことが、自分の文法の復習につながった。



<先生の気づき>

- ・普段の授業では静かな生徒が、友達に積極的に教えている姿が見られた。
- ・生徒が自ら学びに向かうと、学習意欲や表情が大きく変わることを実感した。
- ・「生徒に教える」ではなく、「伴走する」という役割も大事だということを感じた。

ヒガシンカタイムは、生徒も教師も共に成長する新しい学びの場です。挑戦を重ねながら、さらにより形へと進化させていきます。これからも東中学校の新たな挑戦にご期待ください。